

初期研修医からのメッセージ

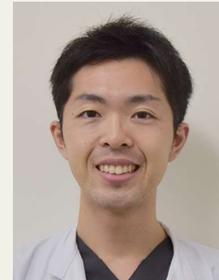
成田赤十字病院初期臨床研修医 1年目の栗原極です。

私が当院に入職を希望した理由は、働いている研修医の先輩方が生き生きとして主体性を持って業務に臨んでいたからです。実際に働いて感じることは、やはり研修医の先輩方は頼もしく、部屋も一緒に困ったことがあったらすぐに相談ができる存在であることです。

では、なぜこのような頼もしい存在になれるのか。考えてみると、救急外来で数多くの経験を得ることができるからです。当院は三次救急で、救急外来でwalk-inの患者から救急車で運ばれてくるショック状態の重症患者まで幅広く見ることができます。来院する患者数も多く、様々な症例を経験することができます。common diseaseの症例には困らないです。内科の救急外来では2年目の先輩も一緒につき、更に上の先生もいるため、疑問に思ったことをすぐに相談することができます。実際に最初から診察し、検査オーダーを組み立てて、今後の治療方針も考え、上の先生とディスカッションする。その積み重ねで、自然と救急外来での対応ができていきます。救急科では上級医のカルテのチェックがあり、見る人がわかりやすいカルテの書き方を直接学ぶことができます。手技に関しても、胸腔穿刺、腰椎穿刺、CV挿入、気管挿管など数多くの手技を1年目の12月の時点で経験しています。また、内視鏡や手術も同様に行えます。

他に成田国際空港と近く、肺塞栓の患者や海外の感染症を経験できます。感染症科の先生方も教育的で週に一回のレクチャーがあり、検体のGram染色を一緒に見る機会等もあります。

最後に、同期の人数もちょうど良く、研修医室ではお互いが経験したことを共有・ディスカッションをする機会も多いです。お互い切磋琢磨し、辛いときも励ましあい、日々成長していく実感ができます。きっと、当院では実りある研修を送る事ができると思います。是非まずは見学に来てください。お待ちしております。



1年次初期臨床研修医

栗原 極

千葉県出身
千葉大学卒



駅伝大会



テニス部



野球部



大規模災害時対応訓練



クリスマスコンサート



病院説明会